



いちのへ社協だより

ゆいっこ

vol. 97

2019/9/27 発行

CONTENTS

赤い羽根共同募金が始まります	2
教育支援資金申請受付・宅配弁当利用受付	3
一戸町敬老会開催	4～5、8～9
できごとフラッシュ	6～7
つながる地域つなぐて・と・て	10
社協からのお知らせ	11
相談日程表 etc	12

題号"ゆいっこ"は、古くは若者たちによる共同農作業という素朴な集団の呼称として使われていましたが、この互助精神が福祉の精神そのものと思い、社会福祉協議会広報の題名にしました。

赤い羽根共同募金運動



が始まります

皆様のご協力をお願いします

10月1日より、全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まります。一戸町でも一戸町共同募金委員会が中心となり、募金活動を展開いたします。

赤い羽根共同募金運動は、社会福祉協議会が実施する地域福祉推進事業、福祉施設の施設整備事業、各種団体が行う福祉活動等の財源確保などを目的としております。

共同募金は、家庭・職場・学校などで気軽にできるボランティア活動です。皆様方からのあたたかいご支援をお願いいたします。



いきいきサロン助成事業



長寿祝品贈呈事業



広報誌発行事業



あなたの町の募金は、あなたの町のために使われています。

募金活動の種類
家庭で募金（戸別募金）
 各地区の行政連絡員または班長が、各家庭を訪問して募金をお願いいたします。訪問された際には、ご協力をお願いします。
お店で募金
 赤い羽根共同募金運動の協力店に募金箱を設置しております。
企業・職場で募金
 社会貢献活動として、企業が寄付を行う法人募金、また職場内で社員が募金活動を行う職場募金があります。
学校で募金
 福祉教育の一環として、学校の生徒や先生が学校ぐるみで取り組みます。

赤い羽根共同募金は、このような事業に使われています

一戸町社会福祉協議会では、赤い羽根共同募金配分金を下記のとおり平成31年度事業にあて、地域福祉の推進に役立てています。

事業内容	一戸町協への配分金額	
老人福祉活動費	宅配食事サービス事業	130,000
	いきいきサロン助成事業	450,000
	長寿祝品贈呈事業	700,000
	福祉バス運行事業	350,000
児童・母子福祉活動費	老人体力増進事業	166,262
	チャイルドシート貸出事業	150,000
地域福祉総合支援事業	子ども会育成支援事業	70,000
	ボランティア活動保険助成事業	40,000
	ゆいっこ活動助成事業	500,000
	民生児童委員活動費	45,000
	広報誌発行事業	300,000
金額合計	2,901,262	

生活福祉資金 教育支援資金の ご案内

種類	貸付限度額	措置期間	返済期間	貸付利率
教育支援費	高校 月35,000円以内	卒業後 6ヵ月以内	20年以内	無利子
	高専 月60,000円以内			
	短大 月60,000円以内			
	大学 月65,000円以内			
就学支度費	500,000円以内			

所得の少ない世帯に対し、学校教育法に基づく高校、大学（短大、専修学校の専門課程）または高等専門学校での修学費用を無利子で貸与する制度です。

一戸町社会福祉協議会では「安全安心を運ぶお弁当屋さん（セイフティサポートデリバリー）」として、調理が難しい一人暮らし高齢者の方などに安否確認を兼ねた宅配食事サービスを行っております。

- お弁当1食400円、配達料金は無料です。
- 一戸町内ならどこへでも配達します。
- 毎週水曜日のお昼に、宅配ボランティアが配達します。
- 配達の際、利用者様にお声をおかけし安否確認します。
- メニュー例
ごはん 味噌汁 鮭の粕漬け焼き 厚焼玉子 ブロッコリー 白菜の和え物 さつまいも煮 フルーツ

お弁当のご注文・お問合せ

一戸町社会福祉協議会 33-3385
 （一戸町総合保健福祉センター内）

必要な書類

借入申請書、住民票、世帯の所得がわかる書類（所得証明書、給与明細書、年金証書等）
 合格通知書または在学証明書、就学経費がわかる書類、その他状況に応じて必要な書類

問い合わせ先

一戸町社会福祉協議会 33-3385（一戸町総合保健福祉センター内）まで

安全安心を運ぶ 宅配弁当は いかがですか？



令和元年度 一戸町敬老会

開催



夫婦長寿のお祝いを受けられる高間木様ご夫妻



ご友人との再会に笑顔で楽しめる参加者

昭和32年11月1日一戸町、浪打村、鳥海村、小鳥谷村、姉帯村が合併し誕生した『一戸町』。翌昭和33年9月に一戸町で初めて『敬老会』が開催されました。地域に尽くしてきた先輩方に対し、尊敬と親しみをもって労をねぎらう『敬老会』は60年を超えた今でも、毎年一戸町の歴史のページに刻まれています。

「令和」最初となった一戸町敬老会は、町内の76歳以上2千734人を対象とし、各地区より700人を超える方の参加により開催され、当福祉協議会も式典準備から当日までスタッフとして参加させて頂きました。

参加者の一人、浪打地区の柴田様からは「毎年式典から参加し、歌や踊りをご飯を食べながら楽しく拝見させてもらっている。普段、中々会えない他の地区の友人と、お互い元気な姿で同じ



場所に集まれる事が何より楽しみ。自分もまだまだ現役でいなくてはと思える一日になる」と笑顔で話して下さいました。
来年もまた新たな思い出を作る皆様のお手伝いが出来る事を社協スタッフ一同楽しみにしております。



一戸保育所園児の発表にたくさんの拍手が送られました。



夫婦長寿写真の掲示の様子



高村正彦写真館様による記念写真撮影会も大勢の方で賑わいました。



めもと長寿祝い

記念品贈呈

一戸町社会福祉協議会では、ご自宅で暮らす78歳以上の元気なご夫婦を対象に記念品（写真撮影または商品券）を贈呈しております。今年度は38組の方に記念品を贈呈いたしました。その中で記念撮影をされたご夫婦をご紹介させていただきます。
※順不同で掲載させて頂いていただきますのでご了承ください。
(P8・P9へつづく)



駒木吉男様 (81) ミ子様 (78) / 姉帯3



坂本敏様 (85) 清子様 (78) / 八幡町



一守文夫様 (83) 美智子様 (78) / 中町

訪問助け合い ボランティア養成講座

7月30日、31日に一戸町総合保健福祉センターを会場に「令和元年度一戸町訪問助け合い活動ボランティア養成講座（主催一戸町地域包括支援センター）」を行いました。当日は13名が受講し、講義や「助け合いゲーム」を交えたグループワークなど楽しみながら学びました。2日間全日程を受講した方には一戸町地域包括支援センター村中昭一所長より修了証が手渡され、一戸町では第1号となる養成講座修了生が7名誕生しました。

この講座は第2回の開催が決まっており（P11参照）、今後も多くの「支える人」が増えることを期待しています。



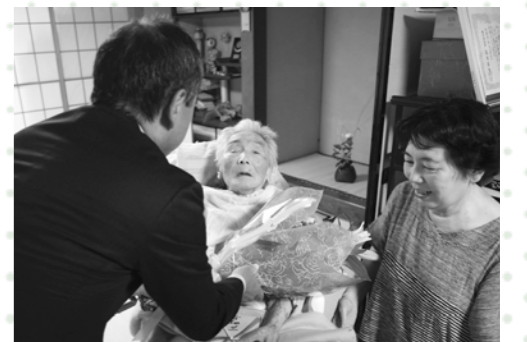
修了証を受け取る受講者



「助け合い体験ゲーム」を通じて受講者同士の会話が弾む。

101歳ご長寿祝い

7月23日、杉山れい様（古館平在住）の101歳のお誕生日祝いを杉山様宅にて行いました。片野修一戸町福祉部長からは敬老年金とお祝いの花束が、林野榮五郎社会福祉協議会長からは記念品と祝い菓子が贈呈されました。杉山様は車いすを利用しての生活をされていますが、当日は顔色もよく非常にお元気な様子でした。



お祝いの花束を受け取る杉山れい様（101歳）

CURRO'ズHoliday（クロスホリデイ） in 一戸町コミュニティセンター

『おしゃれ・癒し・人とのふれあいの時間を作りにくい山間地域のママへ』をコンセプトに、雑貨販売やリラクゼーションを体験できるイベントが8月27日、一戸町コミュニティセンターで開催されました。近隣市町村で活動している作家やセラピスト（代表ハンドメイド作家CURRO様）が企画したもので、当日は子ども連れの女性等たくさんの方が訪れ、癒しの時間を体験しました。



子育てや仕事や家事に毎日頑張っているお母さんに、この日はたくさん笑顔が見られました。

中里地区

「元気な高齢者を祝う会」

中里老人クラブ同勇会（南館俊則会長）が主催する「元気な高齢者を祝う会」が、9月15日（日）翔遊館で開催されました。当日は地域の高齢者など23名が参加し、中里地区で取れた食材を使った手作りの郷土料理を囲んで会食を楽しみました。



傘寿祝の表彰を受ける南館久子さん

元気な高齢者表彰も行われ対象者は、中里老人クラブ同勇会と中里地区

振興会（先達直己会長）から賞状と記念品が贈呈されました。また、会場では地域の踊りの愛好家などによる演芸会も行われ、会場は賑やかな笑い声に包まれていました。



歌や踊りに会場は大盛り上がりでした。

向町いきいきサロン開催中

向町いきいきサロン（駒木セイ子代表）が9月15日（日）、旧堀口治五右衛門邸で開催されました。近隣住民12名が参加し、お茶飲み会やレクリエーションを楽しみました。

向町いきいきサロンは、地域住民の交流の場作りを目的として、今年6月、新たにサロンを立ち上げました。今後若年層との交流などの活動を企画中です。



年齢対抗で輪投げ大会を行い楽しむ様子

一戸高校生職場体験

7月下旬、社会福祉協議会が行う夫婦長寿祝い写真撮影に、県立一戸高校生3名が職場体験のため参加しました。写真撮影は、高村正彦写真館の高村正彦さんとより子さんご夫妻が担当し、生徒3名には撮影の補助をしていただきました。撮影を通し、高村さんご夫妻や被撮影者ご夫婦とも懇親を深め、楽しいひと時を過ごしました。



孫世代の高校生に協力してもらったことで賑やかな撮影会となりました。

めおと長寿祝い記念品贈呈



西館道夫様 (79) ミツエ様 (78) / 摺糠



小野寺秀夫様 (80) ミエ様 (78) / 永代町



小姓堂廣治様 (83) ヤス様 (78) / 小姓堂



田村勝則様 (80) 君江様 (78) / 八木沢



田頭正一様 (81) テイ子様 (78) / 川又



米田勝美様 (84) ユリ子様 (78) / 中屋敷



西館勇夫様 (80) 藤子様 (78) / 宇別



立花長吉様 (80) フヨ様 (78) / 小繫



馬林金次郎様 (83) 京子様 (78) / 仁昌寺



駒木正三郎様 (83) サメ様 (78) / 宇別



中村喜代右エ門様 (84) ミキ様 (78) / 中瀬



山井正雄様 (82) 勝子様 (78) / 上小友



千葉萬吉様 (81) イン様 (78) / 小滝



東山初雄様 (78) キミ様 (78) / 下小友



高間木利男様 (78) キクエ様 (78) / 仁昌寺

ぬかる道
「おてつないで」 唱和する
無邪気な夫の声とどめんと
山火裕
(一戸)

今年夫婦長寿祝い記念品贈呈対象者となられたご夫婦の記念写真をご紹介させていただきます。
また、一戸町文化協会短歌・俳句部会の皆様より夫婦長寿の皆様に向けて、短歌を詠んで頂きましたのでご紹介いたします。
※順不同で掲載させていただいておりますのでご了承ください。

老い二人
習ひとなりしティータイム
入るるコーヒー春やはらかし
仁昌寺洋子
(小鳥谷)

夕暮れの
萩の花咲く坂道を
歩幅そろえて夫の後ゆく
馬林京子
(小鳥谷)



社協からのお知らせ

「みんなでやってみよう!!」

第2回一戸町訪問助け合い活動
ボランティア養成講座開催のお知らせ

困ったときはお互い様…そんな気持ちを一歩進めて、日常の掃除や買い物、調理などこれまでやってきたことをちょっと困っている誰かのために活かしてみませんか？

日時：11月5日(火) 9:30～12:00
11月6日(水) 9:30～12:00

場所：総合保健福祉センター ふれあい交流室

受講料：無料

お問い合わせ・お申し込み

一戸町社会福祉協議会 ☎ 33-3385

申し込み締め切り：10月25日(金)



介護・福祉のおしごと定期相談会

介護・福祉のお仕事に興味のある方、福祉の仕事・資格についての相談、施設の見学等の相談会を行っています。

① 会場：ハローワーク二戸

日時：第1～3火曜日 13:30～15:30

② 会場：一戸町コミュニティーセンター

日時：10月8日(火) 10:30～11:30

お問い合わせ・お申し込み

岩手県社会福祉協議会岩手県福祉人材センター県北地区担当
☎ 080-1651-6203(城内) まで。

尚相談日に都合がつかない場合はご連絡ください。
お子様を連れての相談も可能です。



「ちょっとひといき」 一戸町家族介護者交流会

地域包括支援センターでは、介護をされている方を対象に家族介護者教室を開催しています。日頃の介護からはなれて『カラダ』と『ココロ』のリフレッシュをしてみませんか？

創作活動や調理実習などを行っています。介護に対する悩みや疑問の相談も可能です。

日時：10月8日(火)、11月12日(火)

10:00～正午(毎月1回 火曜日実施)

場所：一戸町総合保健福祉センター 検診室

参加料：100円(お茶代として)

お問い合わせ

保健福祉センター内 地域包括支援センター

☎ 0195-32-3700



金融犯罪被害防止等の出前講座 を行っています

県内でも多く発生している架空請求詐欺やオレオレ詐欺等『金融犯罪の手口と対策』、借金等の相談から『家計管理のポイント』など出前講座を行っています。地域のサロンや会合などの時間にお伺いしてわかりやすく説明します。

県内町内会やサロンなど町内どこにでも行きます。費用は無料です。

問い合わせ先

一戸町社会福祉協議会 ☎ 33-3385

東北財務局 盛岡財務事務所 理財課

☎ 019-625-3353



レクリエーション用具の貸し出しを 行っています

一戸町地域包括支援センター及び一戸町社会福祉協議会では、子どもから高齢者まで気軽に楽しめるレクリエーション用具の貸出を行っています。

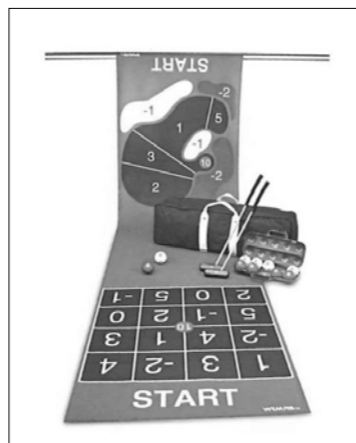
スカットボールや輪投げ、シャッフルボードなど、サロン等での軽運動のアイテムとして、行事等の余興としてぜひご活用ください。

用具についてのお問い合わせ・借用申し込み先

一戸町地域包括支援センター ☎ 32-3700

一戸町社会福祉協議会 ☎ 33-3385

※借用時、申請書の記入が必要です。ご印鑑をご持参ください。



貸出できるレクリエーション用具の例
シャッフル&ゴルフボード



つながる地域

つなぐて・と・て part2

根反自治公民館(根反)

かつて一戸では当たり前だった活気ある地域づくり、誰もが自然に手を差し伸べ支え合い助け合える地域づくり…そんな光景を再び一戸に取り戻したい!! 社会福祉協議会は、住民が手と手を取り合い支え合う地域づくりの実現を目指しています。このページでは町内の住民主体による地域活動によって、地域が元気になる様々な「つながり」が生まれていく様子を毎号シリーズで紹介していきます。



4月の定植から7月の収穫まで、毎日のように作業が続きます。



皮むき作業は女性を中心に。笑い声が絶えず、会話が弾むと作業も捗ります。



現在の根反公民館

9月11日(水)、根反公民館にあるビニールハウスには朝から8名の女性が集まり、タマネギの皮むき作業の傍ら世間話に花を咲かせていました。
このタマネギは、根反自治公民館(中瀬春英館長)で公民館活動の一環として栽培及び販売されているものです。この日は土が付着した外側の皮を剥き、販売

公民館の老朽化：
修繕費用を稼ごう!!

畑仕事を通じて生まれた住民同士の関わり、 地域を越えて広がる

今年4月の種まきから秋の出荷まで、全ての工程を地域住民みんなでやってきました。畑やビニールハウスは、農作業する場所であり、仲間とふれあえる場所です。「今日は誰が来るかな。」いつの間にか、畑やビニールハウスが地域の「居場所」になりました。
タマネギ作りの活動を始めて3年目の今年、これまで根反地域のみで行ってきた活動を多くの人に知ってもらおうと「根反たまねぎ収穫祭」が開

できる状態にする作業の最終日でした。
根反自治公民館でタマネギを作ることになったきっかけは、公民館の老朽化でした。根反公民館は、旧根反小学校を地域の皆さんの手できれいに整備し再利用していますが、築65年を超え老朽化がどんどん進み、修繕費用を全額賄うことはなかなか難しい…。そこで思いついたのが、自分たちで「稼ぐ」方法でした。
地域住民から提供してもらった30アールの土地で、昨年は約5000kg収穫、約40万円を売上げたと言います。



「根反たまねぎ収穫祭」は多くの参加者で賑わいました。

催され、町内外から約1000人の参加者が集まって収穫体験などを楽しみました。タマネギ作りを通じて広がった住民同士の関わりの輪が地域を越えて広がり、大きな輪になりました。
今年のタマネギ作りが終わりを迎えるよとしていたこの日、「明日から会えなくなるね」「んだら、おらほの畑で会うべし」とこれからも住民同士の関わりを楽しみにする声が聞こえていました。

各種相談日程表

	法律相談	多重債務相談	くらしの相談窓口	ふれあい相談
開催日	10月 8日(火) 10月 21日(月)	10月 15日(火)	月曜日～金曜日 (土日祝祭日・ 年末年始休み)	月曜日～金曜日 (土日祝祭日・ 年末年始休み)
	11月 12日(火) 11月 26日(火)	11月 19日(火)		
	12月 10日(火) 12月 24日(火)	12月 17日(火)		
時間	10:00～15:00	10:00～15:00	8:30～17:15	8:30～17:15
場所	二戸消費生活センター (二戸合同庁舎内) TEL 23-5800 ※要予約		二戸市総合福祉 センター TEL 43-3588	一戸町社会福祉協議会 (一戸町総合保健福祉 センター内) TEL 33-3385

寄付御礼



(公財) 一戸町社会福祉基金への寄付
(令和元年7月1日～令和元年9月13日
取り扱い分)

一岩会 (会長堀口泰男様)
金 30,000 円也

頂きましたご寄付につきましては、町の社会福祉事業推進のため活用させていただきます。ありがとうございました。



災害義援金募集のお知らせ



社会福祉協議会では、被災された方々を支援するための義援金を下記の通り受付しております。頂いた義援金については、岩手県共同募金会や日本赤十字社岩手県支部を通じて全額被災地の方々へ届けられます。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

京都府京都市伏見区で発生した放火事件に係る被害者義援金

(受付期間：令和元年10月31日まで)

令和元年台風15号千葉県災害義援金

(受付期間：令和元年12月30日まで)

令和元年8月豪雨災害義援金

(受付期間：令和2年2月28日まで)

平成30年北海道胆振東部地震災害義援金

(受付期間：令和2年3月31日まで)

平成28年熊本地震義援金

(受付期間：令和2年3月31日まで)

東日本大震災義援金

(受付期間：令和2年3月31日まで)

平成30年度7月豪雨災害義援金

(受付期間：令和2年6月30日まで)

各種災害義援金については一戸町社会福祉協議会 (TEL 33-3385) までお問い合わせください。

編集後記

9月16日(月)の敬老の日にあたり、町の敬老会を始め各地域や施設でお祝いの行事が開催されました。なかなか会えない人と年に1度会える日、いつもよりおしゃれができる日、歌や踊りを生で楽しめる日…参加された皆さんが思い思いに楽しんでいる様子が印象的でした。私の祖父母はみんな他界してしまいました。幼いころから祖父母と同居していた私にとって、広報やサロン活動等を通じて地域にお邪魔し、高齢者の皆さんとお話できることをいつも楽しみにしています。

一戸町にお住いの高齢者の皆さん、いつも私たちを温かく迎え入れて下さりありがとうございます。お料理のこと、農作業のこと、一戸の昔話など、これからも楽しいお話をたくさん聞かせてくださいね。いつまでも、末永く、お元気で。(小野寺)

表紙の紹介

根反自治公民館(館長中瀬春英様)の皆さん。人と人とのつながりを大切にしながら、地域活動にご尽力されている皆さん。活動中は絶えず笑顔であふれています。(参考P10)



社会福祉法人一戸町社会福祉協議会

〒028-5321 一戸町一戸字砂森93-2(一戸町総合保健福祉センター内)
TEL 0195-33-3385 / FAX 0195-33-2737
ホームページ <http://ichinohe-shakyo.jp/>

